

教科	地理歴史	科目	世界史B	単位	4単位	年次	2年次
使用教科書	『新詳 世界史B』(帝国書院)						
副教材	『最新世界史図説 タペストリー(十八訂版)』(帝国書院)						

1. 担当者からのメッセージ(学習方法等)

「世界」に関する意識が低いいため、世界各地の地誌上の違いや分布する民族の特性を前提としつつ、歴史的発展性について関心が高められるような授業展開を、グループワークを取り入れながら進める。ただ、生徒からの世界史の知識を求める声が上がってきているという現実を踏まえ、世界史知識に重点を置くと共にグループワークを併用して、生徒の「世界」に対する理解が深められる授業展開を心がけたい。

2. 学習の到達目標

地域ごとの古代から現代までの時代的特性に対する理解度を高め、歴史的な詳細な情報を教科書レベルで習得することを目標とする。

3. 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a: 関心・意欲・態度	b: 思考・判断	c: 技能・表現	d: 知識・理解
観点の主旨	異なる地域・時代・民族・環境などの下で、人間が作り上げた歴史であることを深く理解し、歴史的な出来事が単発で生じたのではなく、何らかの因果関係の下に起こるといふ道理を知る努力をし、その上で、生徒が自らの生き方につなげられるように指導する。	個々の歴史的事象は起こるべくして起こったのか、それとも利害関係などの影響を背景とするのかなど、歴史的展開のポイントを生徒目線で判断することで、生徒が歴史内で疑似体験をしているような授業展開を示す。	歴史的資料としての地図や図解に対する理解度を深め、グループワークを通じてのプレゼンテーションで、資料を用いる中で生徒自ら理解度を深めるように自助努力を促す。	歴史的情報や資料などを通じて、各時代に対する総合的認知度が高まるよう、授業中の生徒への発問などで刺激し、対話を挟みながら理解度が高まるように導く。
評価方法	授業での観察 グループワーク 授業中の発問に対する生徒の回答	授業での観察 授業中の発問に対する生徒の回答	授業での観察 グループワーク プレゼンテーション 小テスト 定期考査	授業での観察 グループワーク プレゼンテーション 小テスト 定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとめごとにより評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観

4. 学習の活動

月	単元	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
4	原始・古代史	人類の誕生、世界の各地での文明の形成と発展を主題とした授業。 ■原始では、猿人類と類人猿の差異や進化を通じての人間社会の環境の変化。 ■古代史は、文明の種類とその差異を初め、各地での地域的発展の特徴について。	○	○	○	○	古代史 文明の種類と差異や各地での地域的発展の特徴に対する理解度	授業での観察 グループワーク プレゼンテーション 生徒への発問に対する回答 小テスト 定期考査
5			○	○	○	○		
6	中世・近世史	中世史 ヨーロッパや東アジアを中心に古代との時代的特徴の差異。近世史 大航海時代以降のヨーロッパ諸国の発展とグローバル化の中のアジア地域の実情。	○	○	○	○	中世史 封建制度下のヨーロッパ各国の王権の推移と教皇権との関わりや、同時代のアジア諸国の国情に応じた発展性に関する理解度 近世史 東西ヨーロッパ諸国の発展の差異や植民地化が進むアジア諸国の動向に対する理解度	授業での観察 グループワーク プレゼンテーション 生徒への問いかけに対する回答 小テスト 定期考査 夏期休暇中のレポート
7			○	○	○	○		
8			○	○	○	○		
9	近世・近代史	近世史 大航海時代以降のヨーロッパ諸国の発展とグローバル化の中のアジア地域の実情。近代史 列強のナショナリズムに基づく国情の変化と戦い。ウエスタン=インパクトを受けたアジア諸国の状況の変化。	○	○	○	○	近世史 東西ヨーロッパ諸国の発展の差異や植民地化が進むアジア諸国の動向に対する理解度 近代史 欧米列強のナショナリズムの具現化の差異や、ウエスタン=インパクト下のアジア諸国の国情の変化に対する理解度	授業での観察 グループワーク プレゼンテーション 生徒への問いかけに対する回答 小テスト 定期考査 冬期休暇中のレポート
10			○	○	○	○		
11	近代・現代史	近代史 列強のナショナリズムに基づく国情の変化と戦い。ウエスタン=インパクトを受けたアジア諸国の状況の変化。現代史 2つの世界大戦とその処理をめぐる欧米列強とアジア=アフリカ地域の変化。	○	○	○	○	近代史 欧米列強のナショナリズムの具現化の差異や、ウエスタン=インパクト下のアジア諸国の国情の変化に対する理解度 現代史 2つの世界大戦での主に原因と結果を中心に欧米列強やアジア=アフリカ地域に及ぼした影響についての理解度	授業での観察 グループワーク プレゼンテーション 生徒への問いかけに対する回答 小テスト 定期考査
12			○	○	○	○		
1	現代史	現代史 2つの世界大戦とその処理をめぐる欧米列強とアジア=アフリカ地域の変化。	○	○	○	○	現代史 2つの世界大戦での主に原因と結果を中心に欧米列強やアジア=アフリカ地域に及ぼした影響についての理解度	授業での観察 グループワーク プレゼンテーション 生徒への問いかけに対する回答 小テスト 定期考査
2			○	○	○	○		
3			○	○	○	○		

※表中の観点について a: 関心・意欲・態度 b: 思考・判断・表現 c: 技能 d: 知識・理解

※ 原則として一つの単元 題材 で全ての観点について評価することとなるが、学習内容 小単元 の各項目において重点的に評価を行う観点 もしくは重み付けを行う観点 についてを付けている。